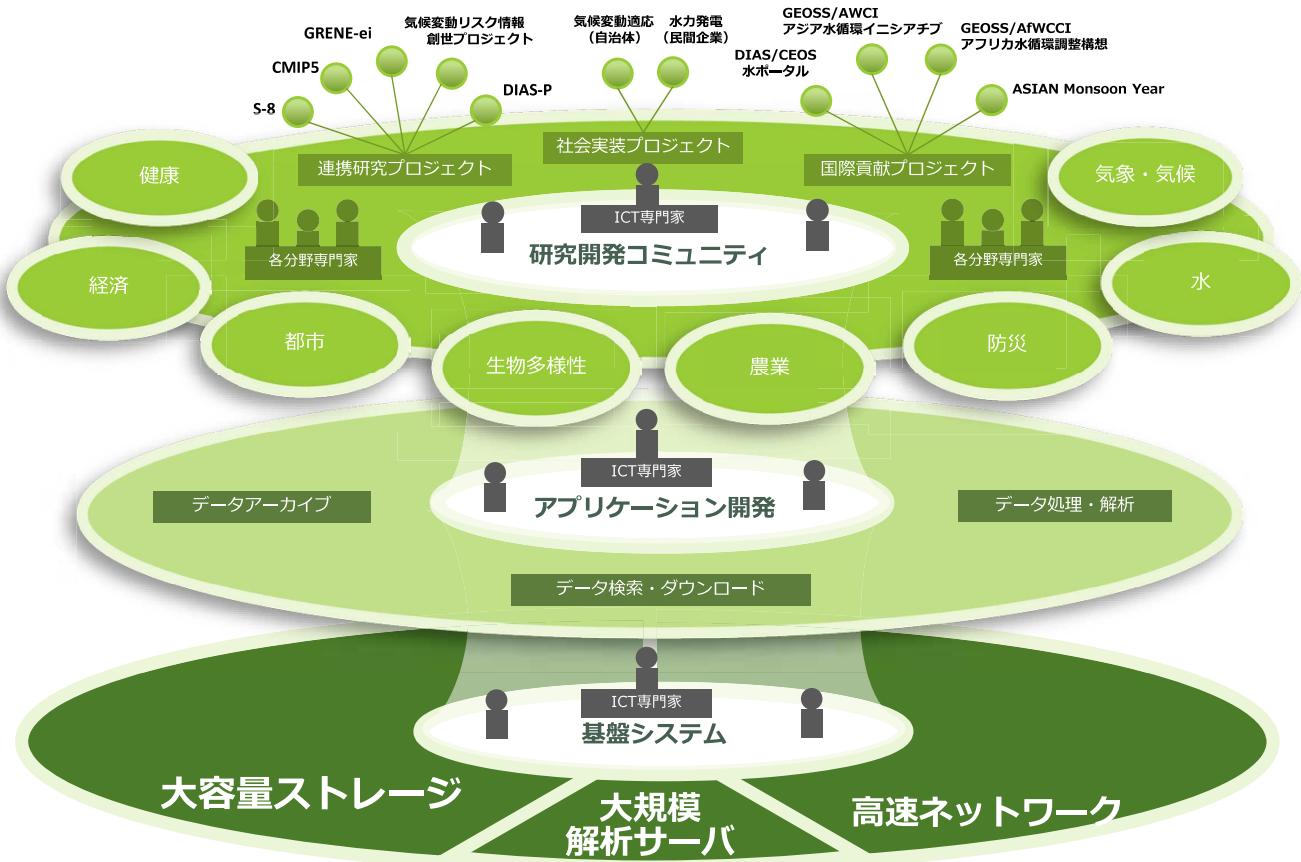
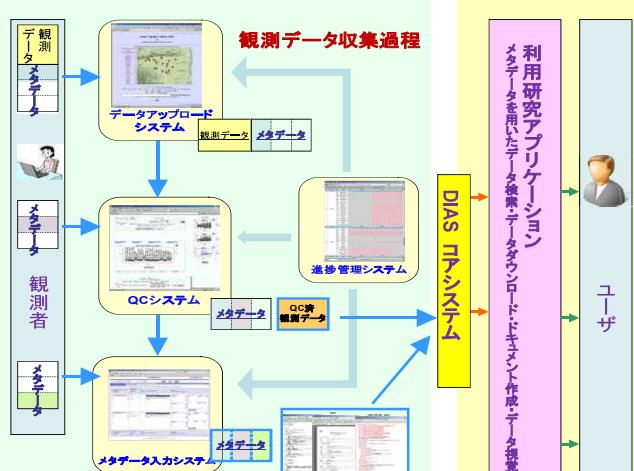


分野間連携、社会と科学の連携促進のエンジン



多様(variety)・超大容量(volume)のデータを正確(verity)・迅速(velocity)にアーカイブし、見える化(visualization) → 5V

地上観測データ 投入・品質管理・メタデータ登録



市民観測 データ (いきモニ)



気候変動予測 モデル出力

- CMIP3(34TB)
- NICAM(90TB)
- CMIP5(1.6PB)
- 環境省適応(140TB)
- D4PDF(3PB)
- NICAM2(1PB)

大規模リアルタイムデータ

- XRAIN**
X-MP+Cレーダ
プロダクツ+生データ
X-MP:1分毎、250m
- ひまわり8号**
16バンド(0.5-2km)
10分間毎に
-フルディスク1回
-日本域4回
-機動観測域4回



アジア水循環
イニシアチブ
18流域
277ステーション

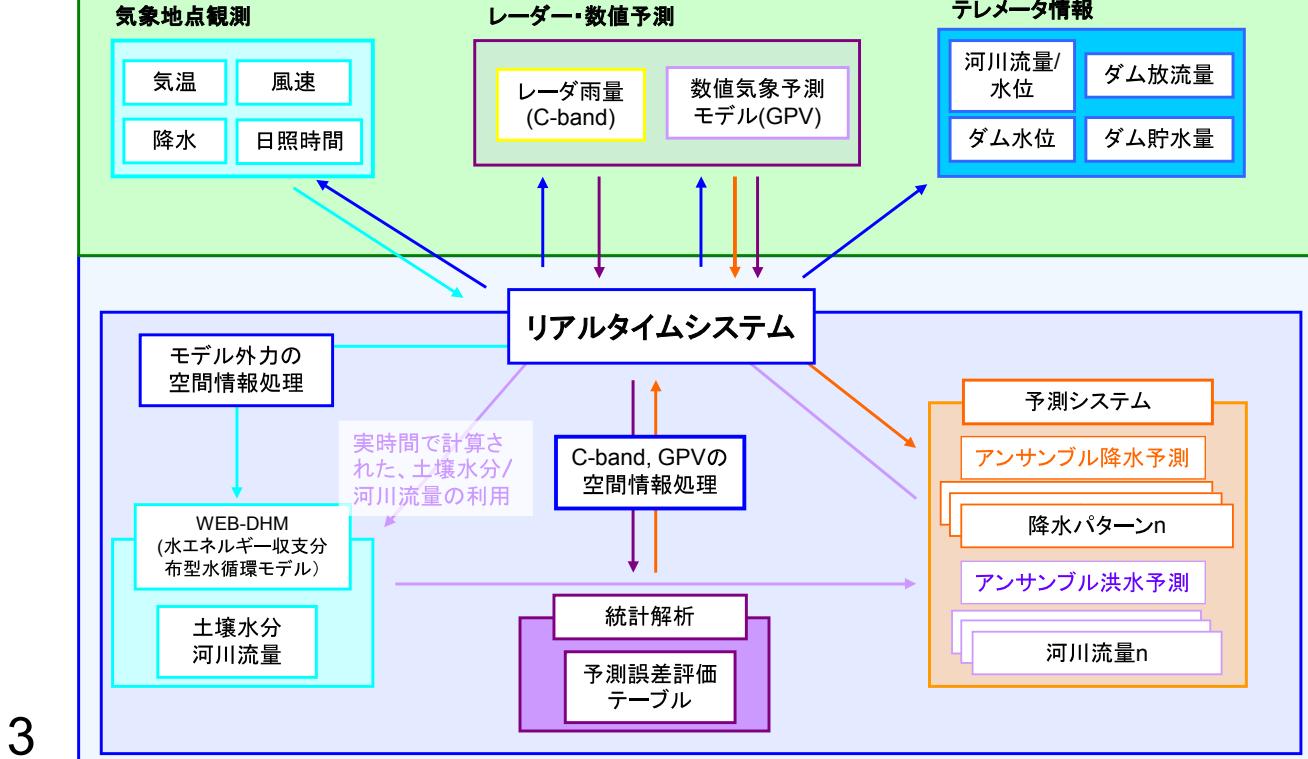
アフリカ水循環
イニシアチブ
3流域
548ステーション

国交省河川管理
テレメータデータ
全国全データ
リアルタイム

利根川上流域洪水・水利用最適管理システムの開発

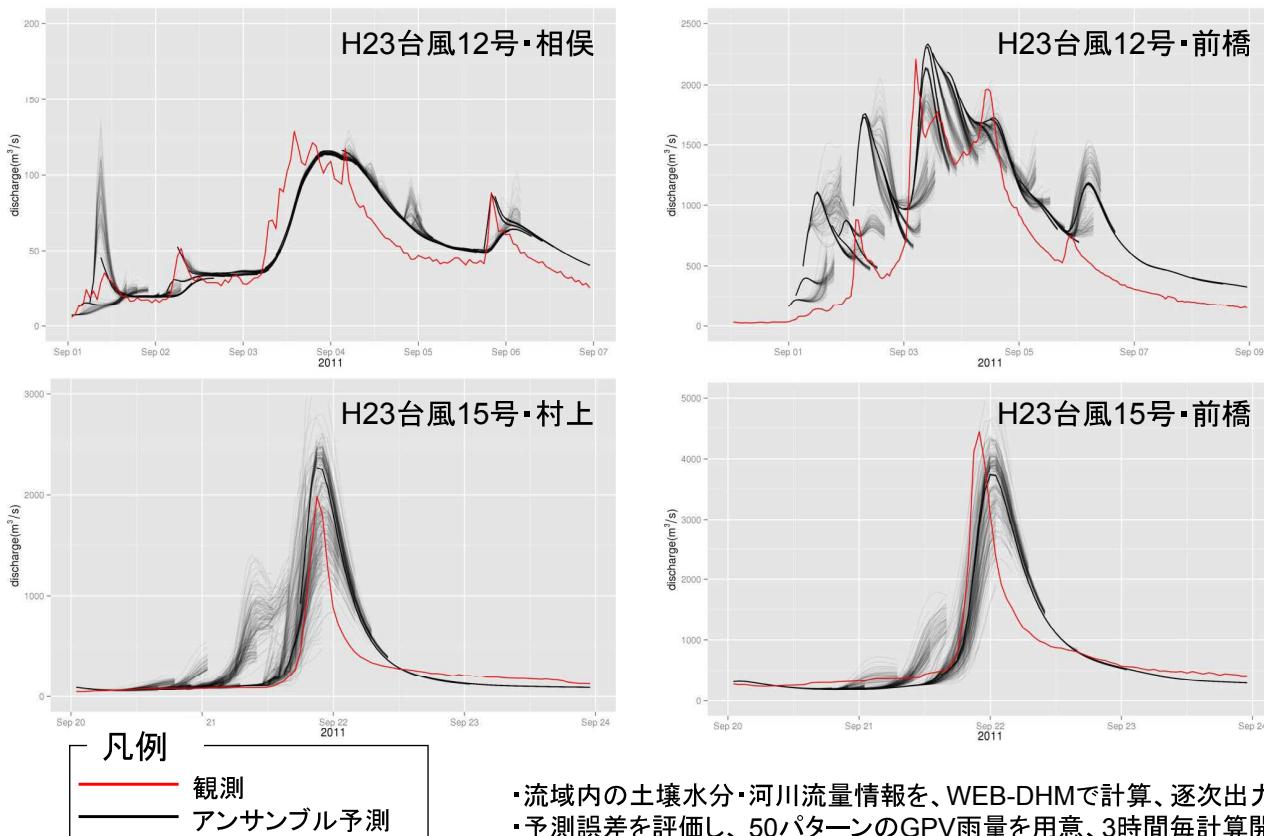
アンサンブル洪水予測(15時間)のための実時間データ管理・誤差評価・予測モデルシステム

DIASデータアーカイブ

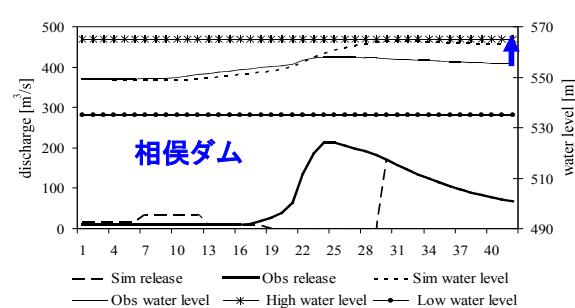
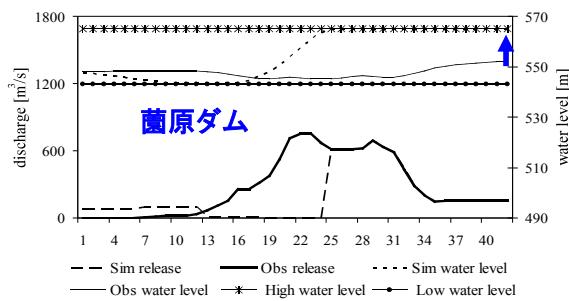
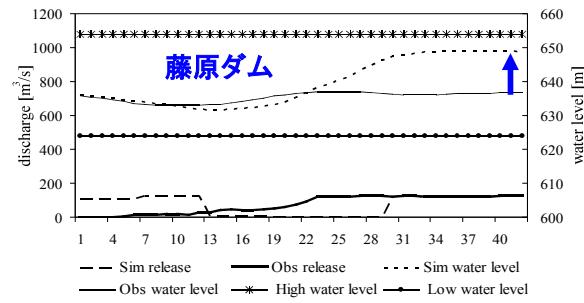
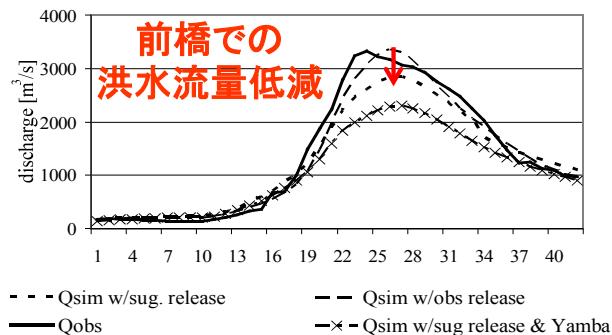


利根川上流域洪水・水利用最適管理システムの開発

実時間システムによるアンサンブル洪水予測



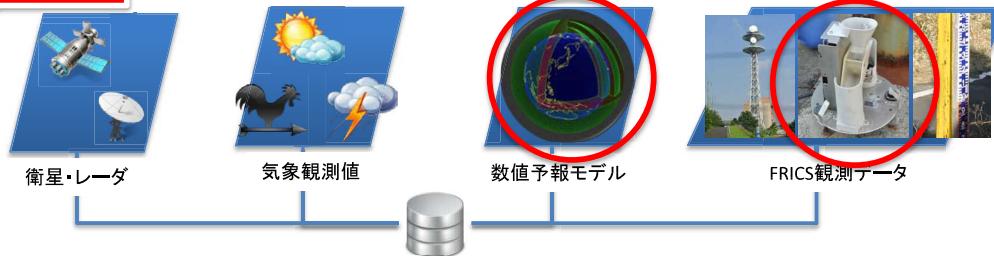
利根川上流域洪水・水利用最適管理システムの開発



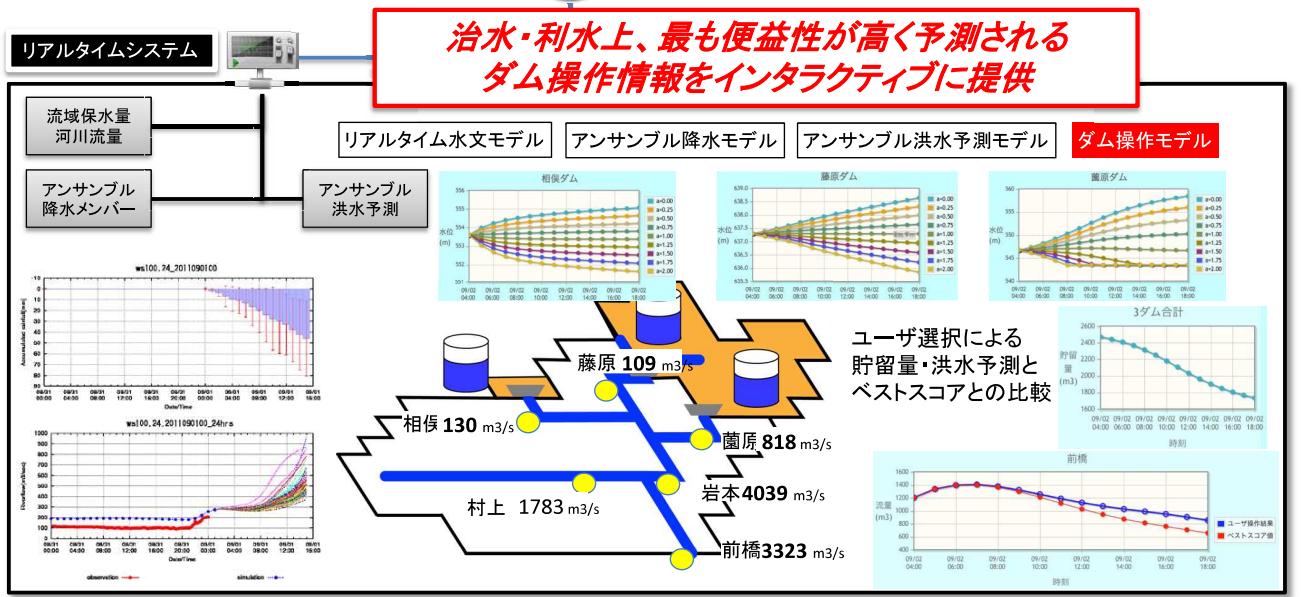
気候変動に適応する河川・水資源地域管理システムの開発
水災害リスクの評価と河川・水資源管理システムの開発

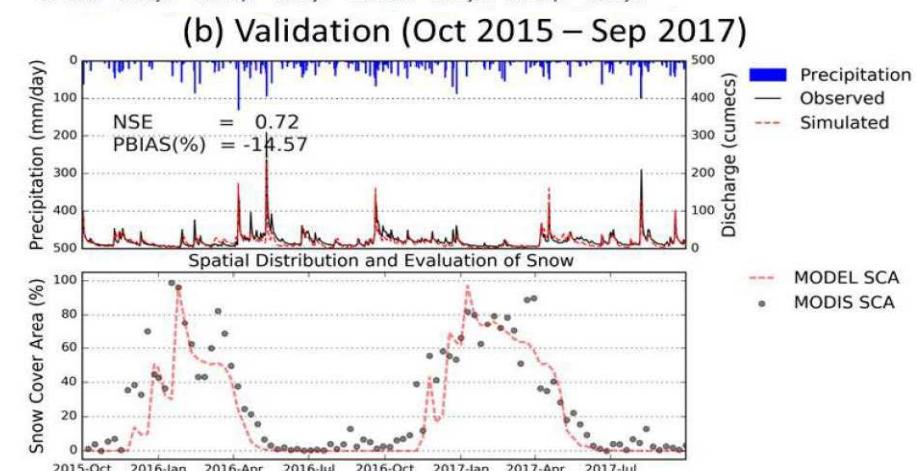
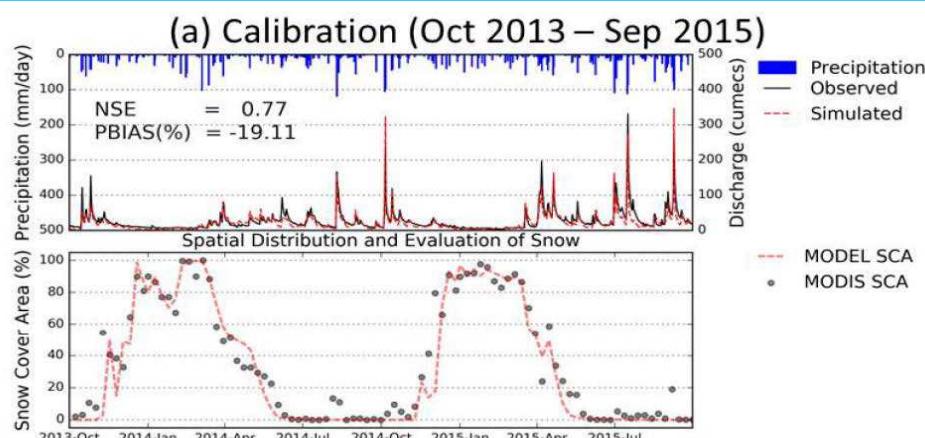
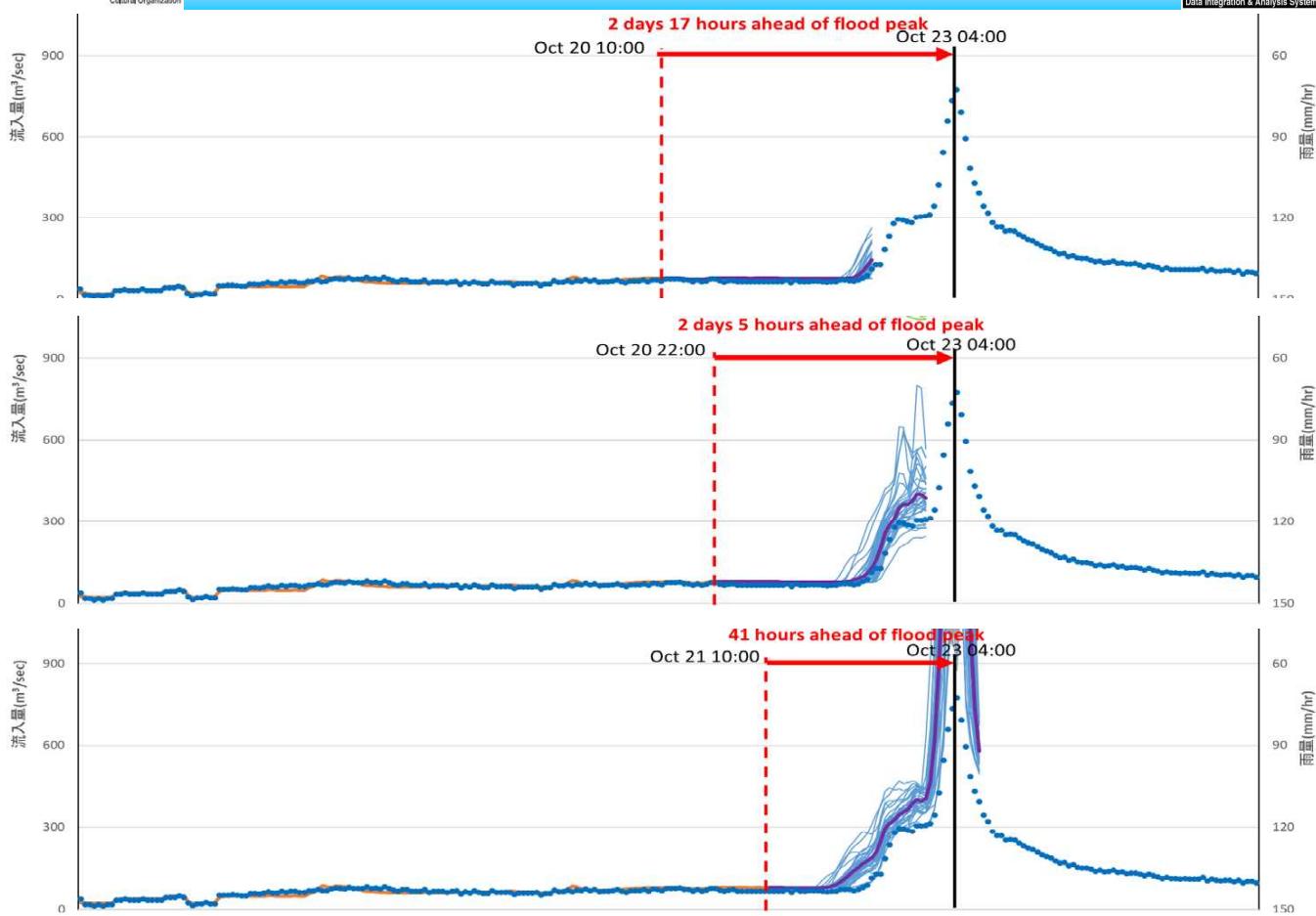
DIASデータアーカイブ

実時間統合解析システム: ダム操作モード

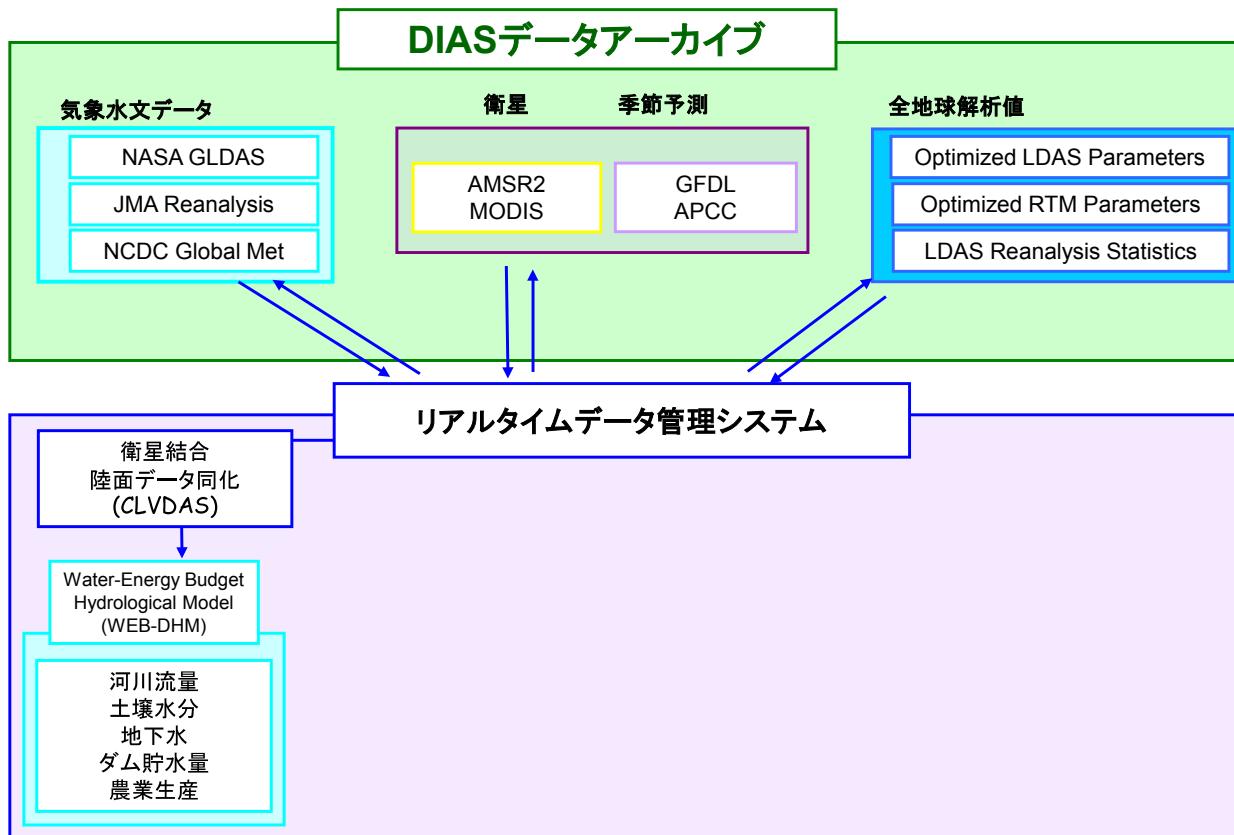


治水・利水上、最も便益性が高く予測されるダム操作情報をインタラクティブに提供





水文気象・農業渴水モニタリング・予測システム



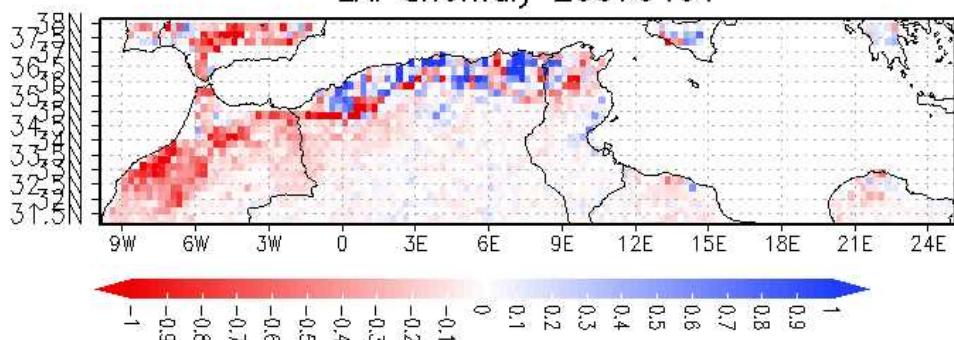
小麦生産量

2007年モロッコ渴水

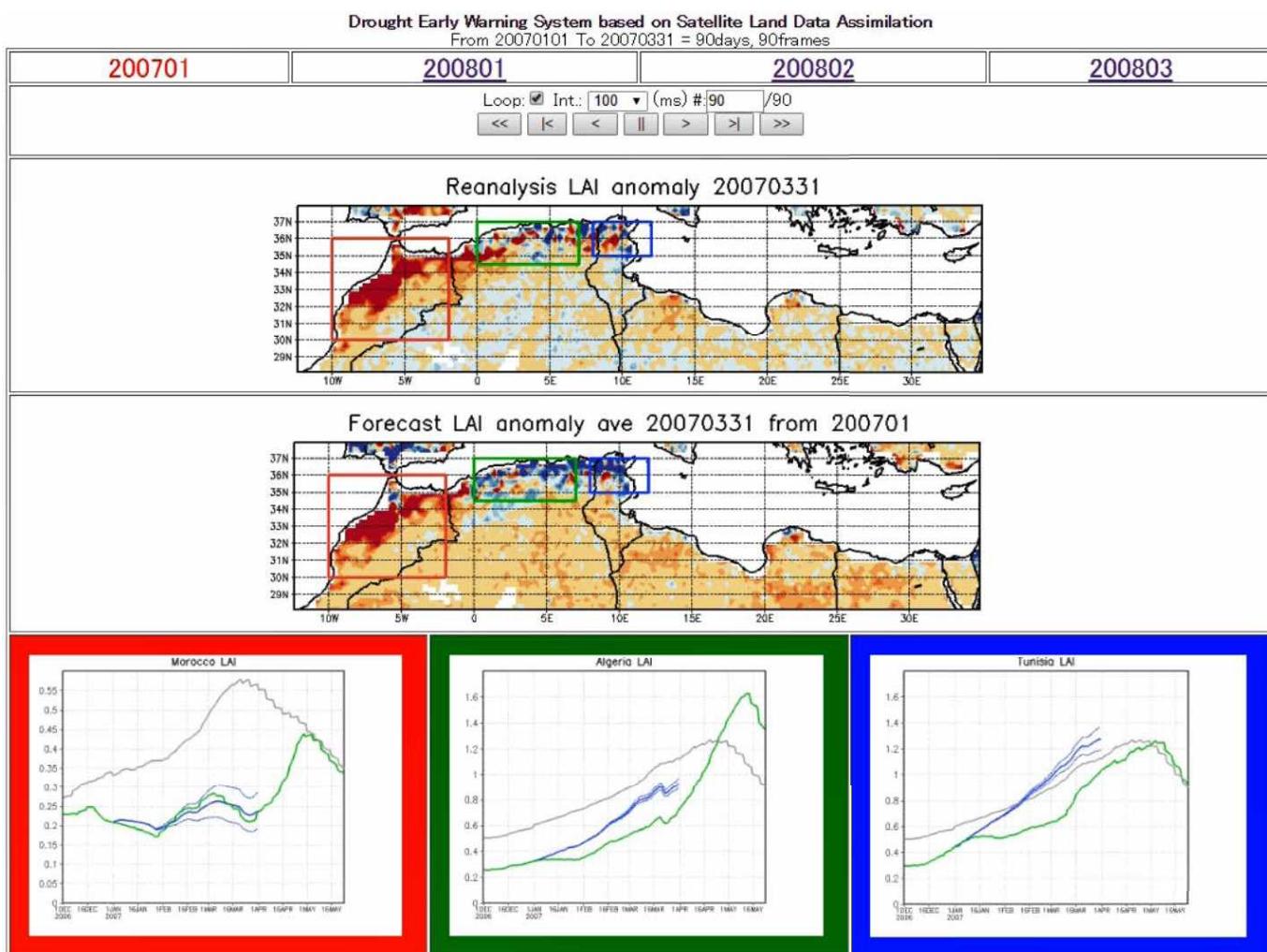
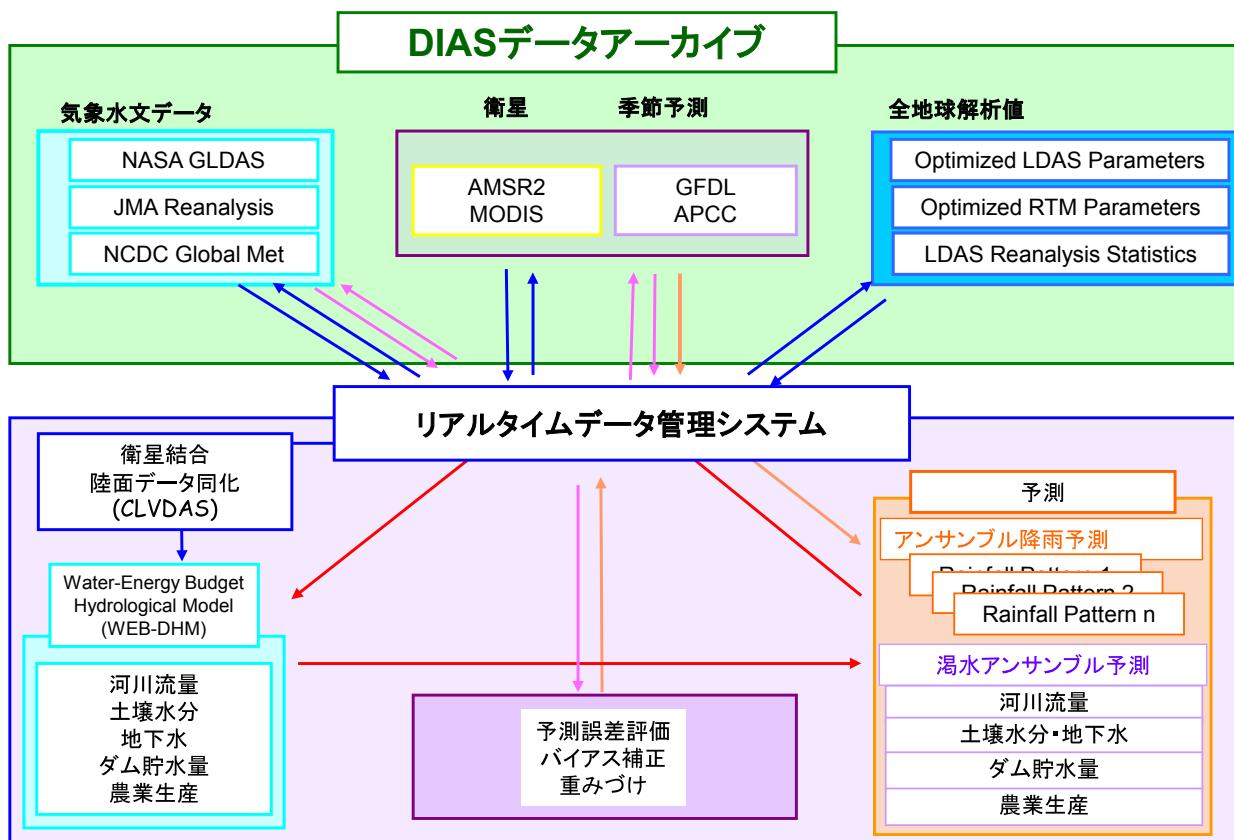


結合データ同化システムからの植生情報

LAI anomaly 20070401



水文気象・農業渇水モニタリング・予測システム



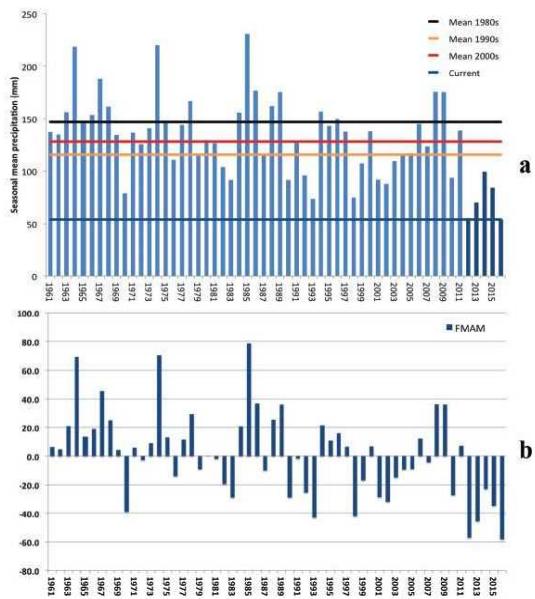


Figure 1
(a) FMAM rainfall over NEB Brazil from 1961-2016, in mm.
(b) FMAM rainfall anomalies in %relative to the 1981-2000 mean.

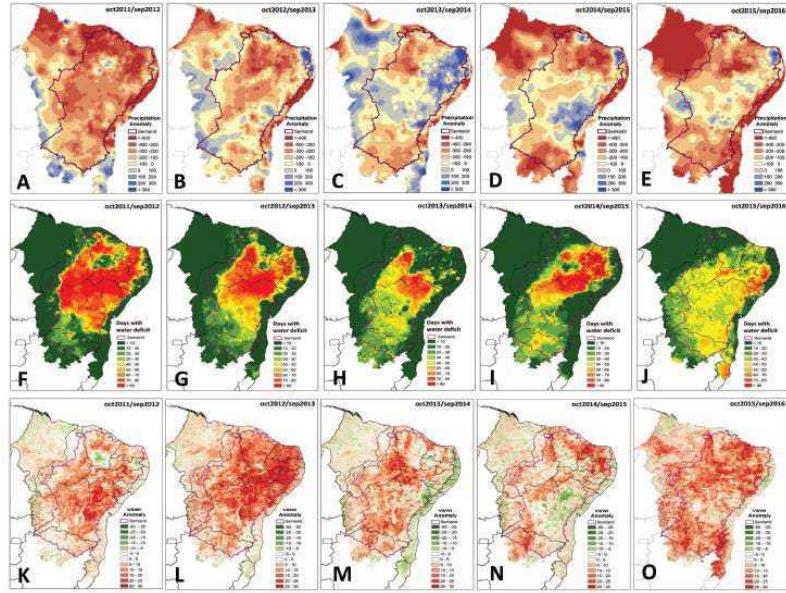
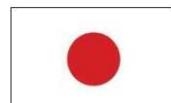
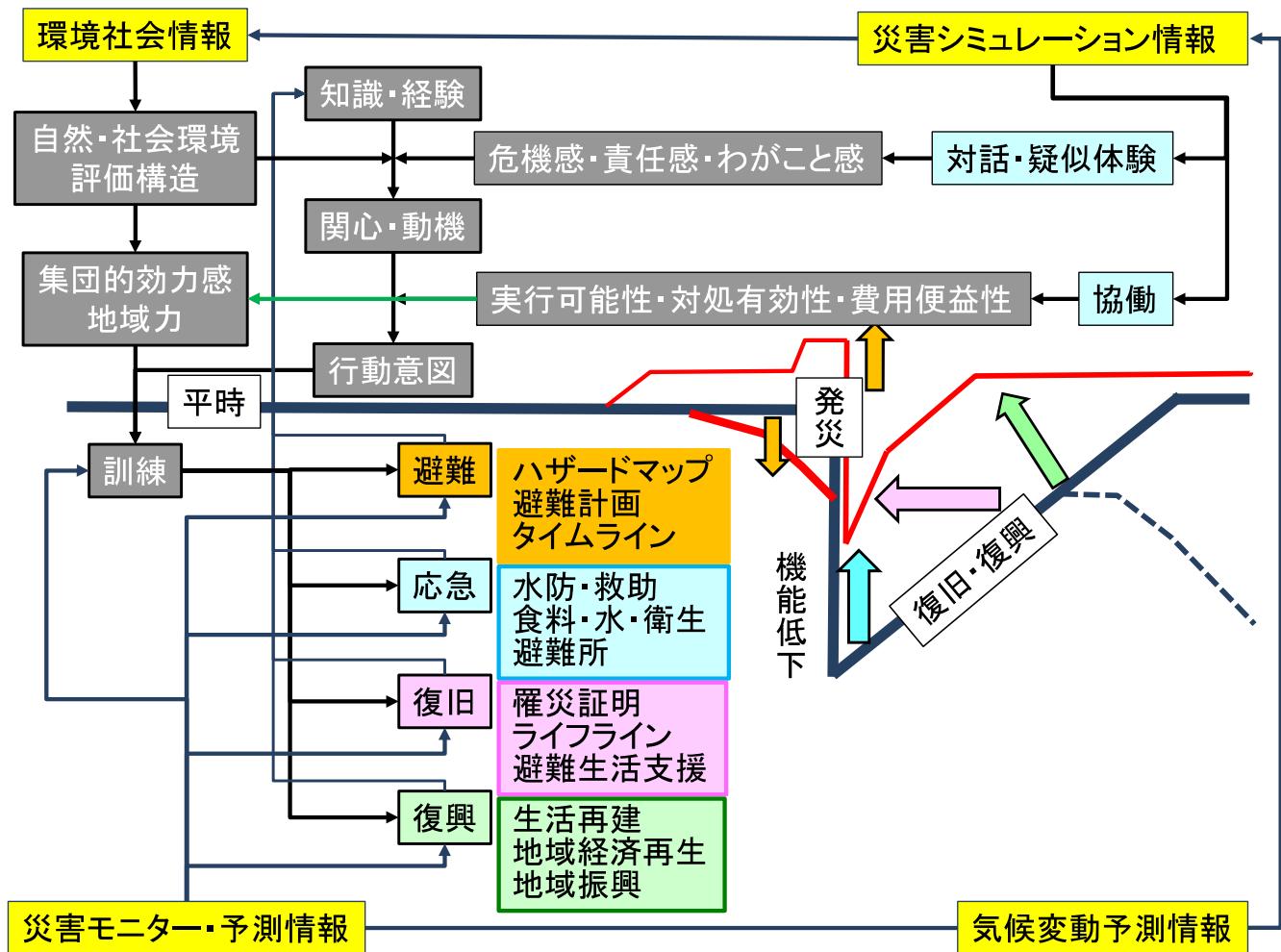


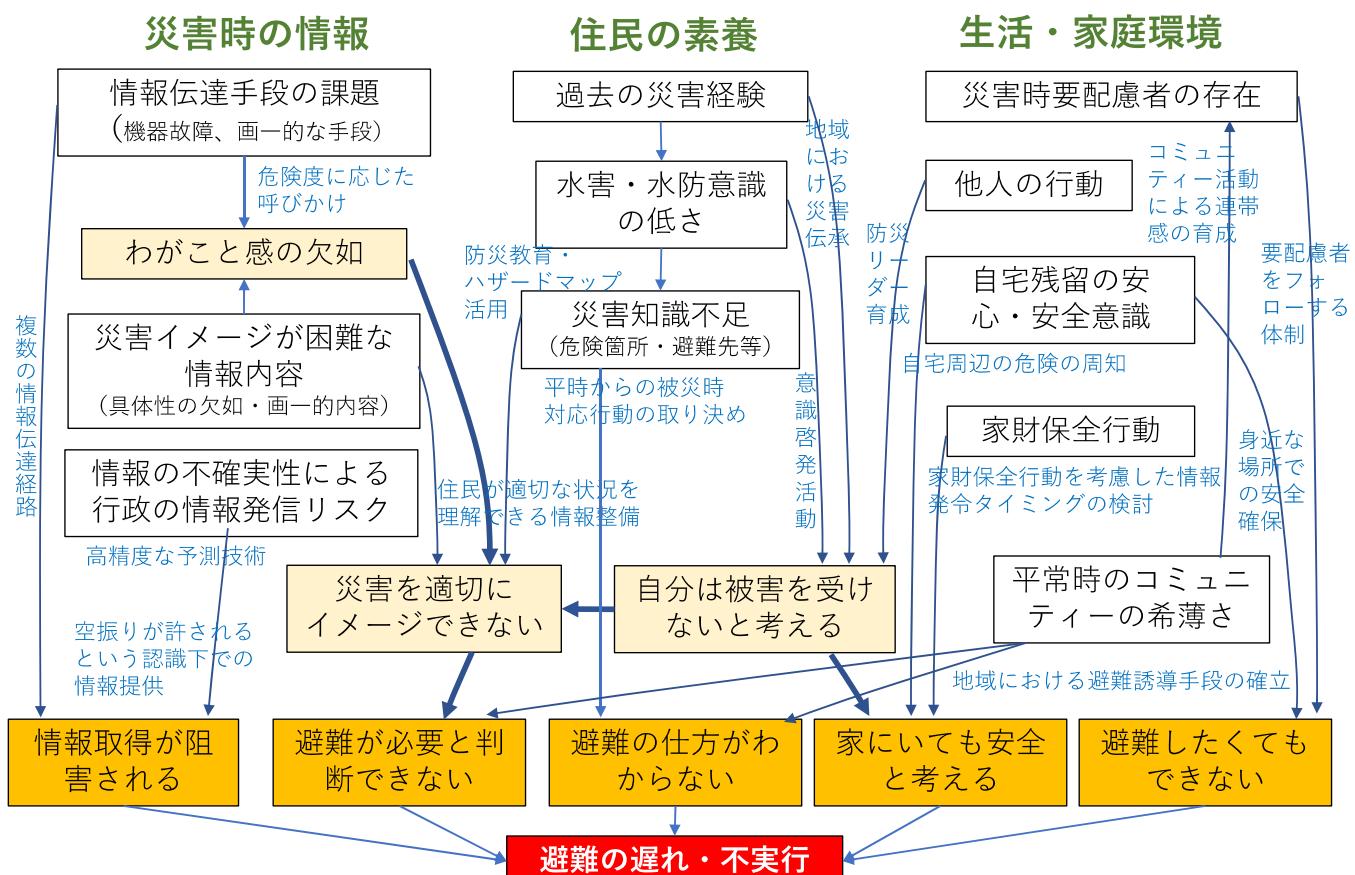
Figure 2
(a-e): Rainfall anomalies (in mm) for the hydrological year October-September from 2011-12 to 2015-16;
(f-j): Number of days with water deficit (number of dry days)
(k-o): VSWI-Vegetation water supply index anomalies (in %) 13

Piloto de Monitoramento e Predição de Secas Agrícolas

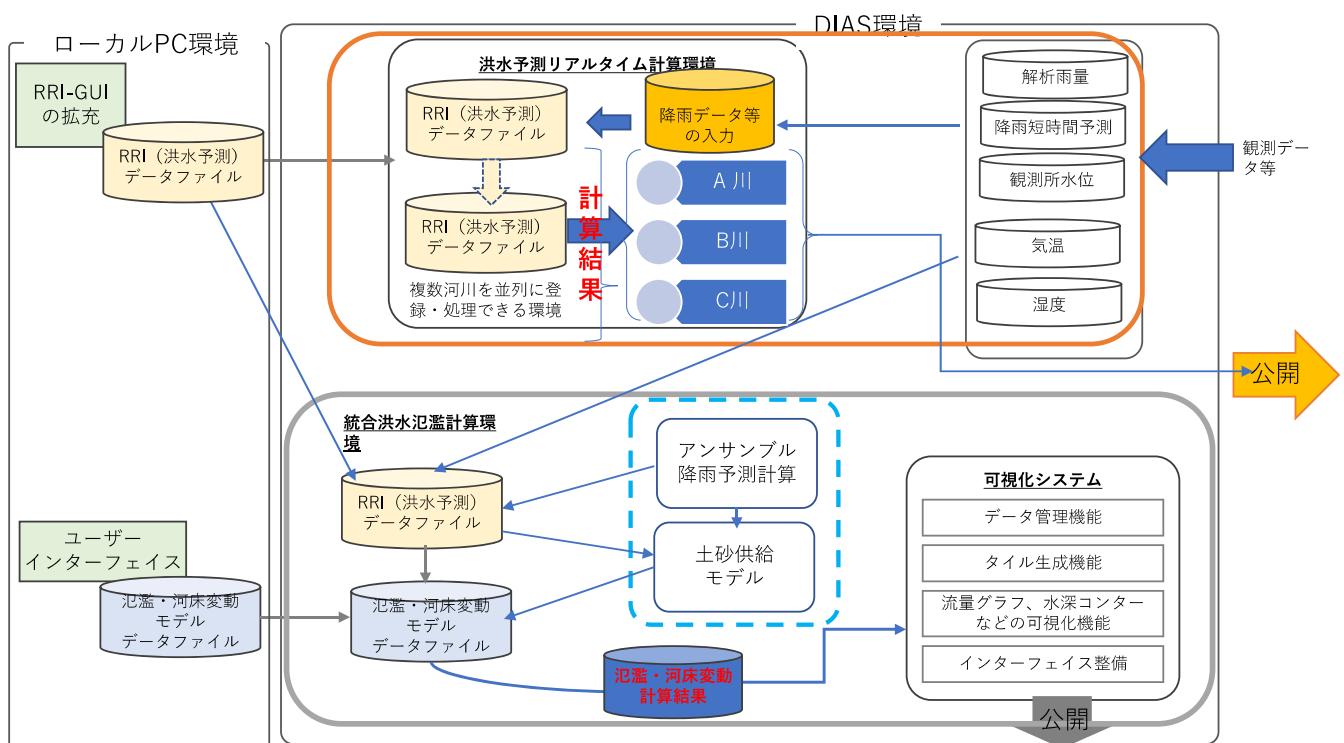




既存の論文等で指摘されている避難行動の阻害要因及び避難促進策のまとめ



注) 「田中皓介・梅本通孝・糸井川栄一：既往研究成果の系統的レビューに基づく大雨災害時の住民避難の阻害要因の体系的整理、地域安全学会論文集、No.29, pp.185-195, 2016.11」に加筆。



分野間連携、社会と科学の連携促進のエンジン

第5期科学技術基本計画

世界に先駆けた「超スマート社会」の実現(Society 5.0)

「準天頂衛星システム」、「データ統合・解析システム(DIAS: Data Integration and Analysis System)」及び「公的認証基盤」等の我が国の共通的基盤システムから提供される情報を、システム間で広く活用できるようにする仕組みの整備及び関連技術開発を進める。

未来への提言: 科学技術イノベーションの「橋を架ける力」でグローバル課題の解決をSDGs実施に向けた科学技術外交の4つのアクション(科学技術外交推進会議)

日本が持つデータインフラであるDIASは、衛星観測をはじめとする各種大規模データを統合的に蓄積し、多様な用途に応じて解析・利用することが可能なビッグデータシステムである⁶。DIASの活用により、これまでアシアやアフリカでの高精度の渇水予測などが実現・進展しており、ODAによる水資源計画の策定にも貢献している。

MLIT-MEXTの協力で、DIASを用いたi-Constructionデータの利用研究・技術開発のための枠組み(コンソーシアム)の設置を考えてはどうか。

解析サーバ